

進路だより

第 12 号



令和 6 年 7 月 18 日
新座市立第五中学校
第三学年進路指導部発行

いよいよ夏休みも目前となりました。現在考えている進路希望やこれからの学習（夏休みを含め）について、もう一度よく考え、ひとりひとりが効果的で充実した夏休みを過ごしてくれることを願っています。

I 夏休み中の進路に向けた取り組み

(1) 学力向上の絶好のチャンス

夏休みは、不得意科目の克服に向けて、時間をかけてじっくり学習に取り組める良い機会です。そして、多くの人にとっては、受験勉強のスタートとなります。この夏休みの頑張りは、学力アップにつながってきます。次のことを参考にして、各自が計画を立て、より充実した夏休みになるように頑張りましょう。

◇自分が勉強するときを使う机を整理して、計画を立てることからスタートしましょう。

◇各教科の 1・2 年の復習を夏休みの間に完了させるようにしましょう。

（教科書や Qubena などの学習テキストを使って計画的に！）

◇問題量をこなして、基本的な内容だけでなく応用力もつけていきましょう。

◇一日、最低 6 時間、夏休み中に、

合計 6 時間 × 40 日 = 240 時間以上 の家庭学習に取り組みましょう。

（一気にやろうとすると大変なので、朝 2 時間、昼 2 時間、夜 2 時間と分けるのがおすすめ！）

(2) 進路希望先についての調査・研究を

夏休み中、数多くの学校で体験入学や学校説明会・見学会を実施しています。五中の三年生も多数参加することと思います。自分で足を運び、目で見たり、耳で聞いたり、直接体験する中で進路について考えていくことは、とても大切なことです。積極的に目的意識を持って参加してください。学校をじっくり調査・研究することができるチャンスです。

(3) 将来の進路について保護者の方とじっくり話し合っ

夏休みは、保護者の方や親戚の方をはじめとした、大人とじっくり話ができる時期でもあります。人生経験を積んだ人たちにいろいろな仕事の話聞いてみるなど、相談をしてみましょう。

『進路』『勉強』と言われると逃げ出したくなる気持ちを持つ人もいます。この壁から逃げてしまうのではなく、『進路』というものを、自分を鍛え上げる良い機会と前向きにとらえ、頑張っていきましょう。

(4) 夏休みはこんな点にも注意！

・ 朝ご飯は、家の人と一緒に食べるようにしましょう

⇒一日は、朝で決まる。一日のスタートをきちんとすることが大切です。

・ 家庭の仕事を必ずやろう

⇒受験生も、家族の一員です。家族としてやるべきこと・貢献すべきことは、試験の直前であってもしっかり行うことが大切です。

・ パソコン・スマホ漬け、冷蔵庫漬けにならないように注意しよう

⇒暇さえあればパソコンやスマホをいじり、そして冷たいジュース・アイス類を摂取しては集中できず、頑張ろうとする意欲もなくなり、さらには体調も崩してしまいます。外に出て、運動をして体を動かすことにより、心身ともにリフレッシュできます。

・ 色々な誘惑に注意しよう

⇒夏は危険な誘惑が多い時期です。「これくらいは、いいだろう。」が命取り。特にお祭りなど、遅い時間の帰り道に注意し、事件・事故・トラブル等には近づかないこと。

II 推薦制度について

私立高校はほとんどの学校で推薦制度があるということを知っていますか？私立高校の受験については、私立高校が第1希望の人だけでなく、県立高校が第1希望の人でも併願校として受験する機会が多いので、推薦制度はほとんどの人に関わってきます。推薦制度にはいろいろな形式がありますが、主なものとしては、**校長推薦、自己推薦、保護者推薦など**です。その中で、**校長推薦を希望する場合には、五中の推薦基準をクリア**する必要があります。校長推薦の基準を下記に載せておきますので、自分ができていないと思うところがあったら、基準をクリアできるようにこの夏休みからがんばってください。

新座市立第五中学校 私立高校等における校長推薦の条件

- 1 本人の動機がはっきりしており、保護者とともに推薦を強く希望していること
- 2 授業に前向きに取り組む生徒であること
- 3 中学生らしい生活をしている生徒であること
- 4 本人の希望する高等学校等の推薦基準に適合していること

1の条件 については面接等で聞かれることが多いので、なぜその高校に行きたいのか、高校でどんなことをしたいのかなど、**志望理由がはっきりしていること**が大切です。

2の条件 は、**授業態度など普段の学習への取り組みがしっかりできている** ということです。

3の条件 は、**「決まりを守り、自分の役割をきちんと果たし、自分の行動に責任を持ちましょう」** ということ、言い換えれば、「当たり前のことをきちんとできる」ということです。具体的には、**「正しい服装ができてい」「給食当番や清掃などの当番活動に進んで取り組んでいる」「係や委員会の仕事に進んで取り組んでいる」**などです。また、いじめや暴力行為、喫煙等の反社会的行為があった場合などは推薦の対象にはなりません。

4の高校の推薦基準 については、**校長推薦だけでなくすべての推薦制度で基準をクリア**していないと推薦受験ができません。基準は各高校等の説明会等で明らかになりますので、推薦の基準までもう少しという人は、努力するしかありません。**通知表の成績で基準が決まっている高校**も多いですが、**校外テストの結果が基準として使われている高校、通知表の成績と校外テストの結果を併用する高校**など様々です。目標を達成するために、具体的に教科ごとの目標ややるべき事をきちんと決めて、計画的に学習に取り組みましょう。また、**成績の基準だけでなく出席状況（欠席・遅刻・早退の回数）**なども含めて推薦の条件になっている高校もありますので、注意が必要です。また、**英検等の資格や、部活動の成績**などが加点項目になる高校もあります。高校によって加点項目が違いますので、希望する高校が決まったら説明会等に参加し、しっかり調べておきましょう。

先輩からのメッセージ ~母校訪問にて五中に来てくれた先輩より~

突然ですが、みなさんには「良い習慣」が身に付いていますか？例えば「毎日勉強をしっかりとやる！」とか「早寝早起きをしよう！」とか。この「良い習慣」が身に付けば「定期テストや受験で周りとの差をつける」ことができるし、なにより自分自身が余裕を持てるので「はいはい」と私は受験を通して思いました。というのも私は中3の2月までテスト期間にしか勉強をしない人でした。その故北辰で出る合格率も低く、受験当日の点も内申が低かったら落ちては、かなりの点でした。勉強でも部活でも何でも、日々の積み重ねを大切にしてください。「継続は力なり」です!! 本当はいい勉強をすぼっている人が多いけれど、その人は今すぐ、何でもいいので「継続表」することをオススメします。(=「勉強を無理にやろうとすると勉強嫌いになります(多分)後悔のない中学校生活を送ってください!!